

歯を大切に むし歯ゼロの子大集合

1月に行われた3歳児健診で、むし歯がなかった子どもたちを紹介します



島川 ありら 耀くん
(船作)



黄金崎 ことみ 心望さん
(広戸)



大川 かいり 海惟さん
(北金2区)



福澤 ほんか さん
(関)

むし歯予防の豆知識



乳歯が生えそろう、上下の歯がしっかり噛み合うようになるのは2歳半から3歳頃です。この時期は、まだ噛む力が弱く、奥歯で「噛んでつぶす」ことはできても「すり潰す」ことがまだ上手にできません。子どもが食べ物をよく噛まないで飲みこんだり、舌で押し出したりするときは、お口の成長が食材や調理形態にあっていないからかもしれません。

子どもの食べる様子を観察しながら、適度に噛みごたえのある食事を取り入れて、ゆっくりよく噛んで食べる習慣をつけることで、歯からの刺激が歯を支える顎の骨に伝わり顎の成長を促します。顎の成長を促すことで、乳歯やその後生えてくる永久歯のスペースができて歯並びがよくなります。

ホテルJALシティ青森、ふかうら雪人参収穫体験

日本航空（JAL）ブランドのホテルJALシティ青森の関係者が、2月10日に船作興農組合を訪れ、雪人参の収穫を体験しました。3月から毎週土曜に「ふかうら雪人参フェア」と題し、ふかうら雪人参を使ったメニューをホテル内のレストランで提供することとなり、新作料理に向けて知識を深めました。現場に到着した一行は、新潟代表理事の説明を受け、搾りたての人参ジュースやスティックを試飲・試食し、驚くほどの甘さに感激していました。また、収穫現場では高橋料理長とJALふるさとアンバサダーの葛西さんが雪人参の一つひとつ丁寧に収穫。厳しい寒さでの収穫を実感していました。フェアは3月の毎週土曜日11時30分から14時まで。料金（税込み）は大人3000円、小学生1800円、未就学児1000円、3歳以下無料となっています。



十二湖歩くスキー&トレッキング

1月29日、十二湖地内で歩くスキー&トレッキングを行いました。本年度は、積雪量が非常に多い中、開催でき、雪化粧をした十二湖の景色は、美しいものでした。冬期間の十二湖を歩く機会は、中々ないため、貴重な時間を過ごすことができたと感じます。

来年度も教育委員会では、スポーツ講座事業として、年2回のウォーキングと歩くスキー&トレッキングを開催する予定です。

皆様のご参加お待ちしております。

主催：教育委員会、十二湖森の会
講師：歩くスキー（菊池伸吉氏、西巻正治氏）
トレッキング（板谷正勝氏、柳町明男氏）



マダラ・ヤリイカ・サバが豊漁！次は何が来る？

昨年12月から今年の2月にかけて、町内の各地の漁場が賑わっています。このうち新深浦町漁協大戸瀬本所ではマダラやヤリイカ、サバが大漁となりました。

小枝裕幸組合長は「ありがたい。久しぶりに浜に活気が戻り漁師の会話も弾んでいる。海に向かってありがとう、と言った反面一抹の不安もある。県全体の水揚げが史上最低を記録した事、温暖化による海洋環境の変化など、漁の浮沈は漁師の宿命ではあるけれどしっかりと資源管理をし、後世に伝えて行く事が今を生きる者の使命である。何よりも安定して獲れる事が1番。獲る漁業半分、作る漁業半分という形が理想であり、漁師の生活向上、新規就業者不足の解消に注力したいと考えています。」と述べました。

深浦の一次産業に活気が戻ってきました。次はどんな魚が深浦の海に来てくれるのか、楽しみです。

【新深浦町漁協大戸瀬本所の漁獲状況について】

魚種	2020年 (2020年12月~2021年2月)	2021年 (2021年12月~2022年2月)
マダラ	28 t	350 t (前年の約12倍)
ヤリイカ	68 t	192 t (前年の約3倍)
サバ	2 t	110 t (前年の約55倍)

